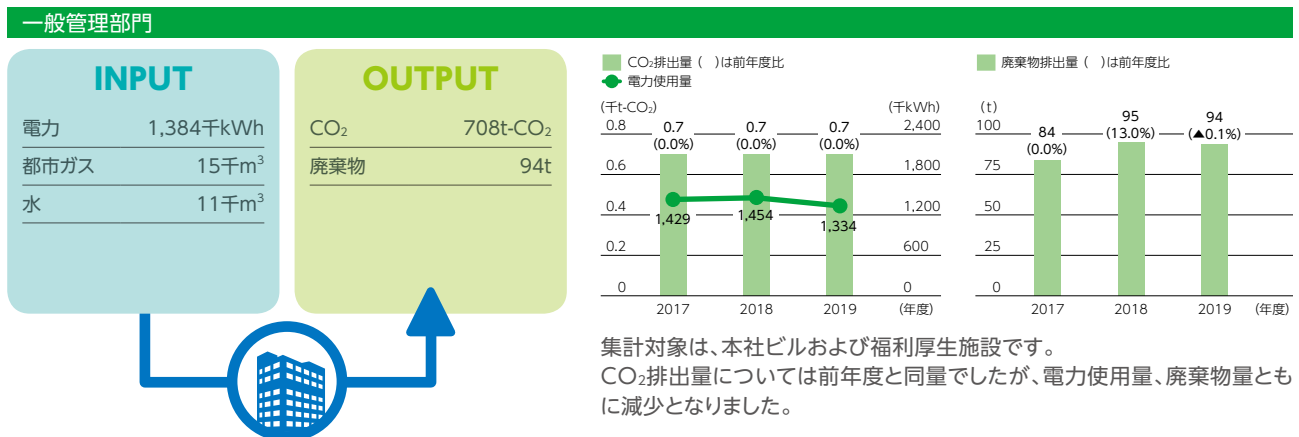
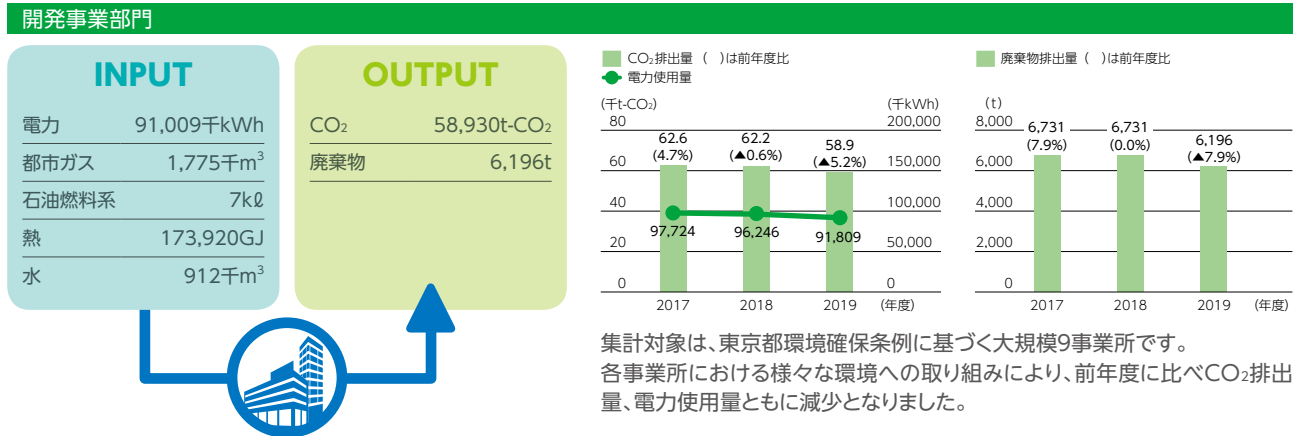
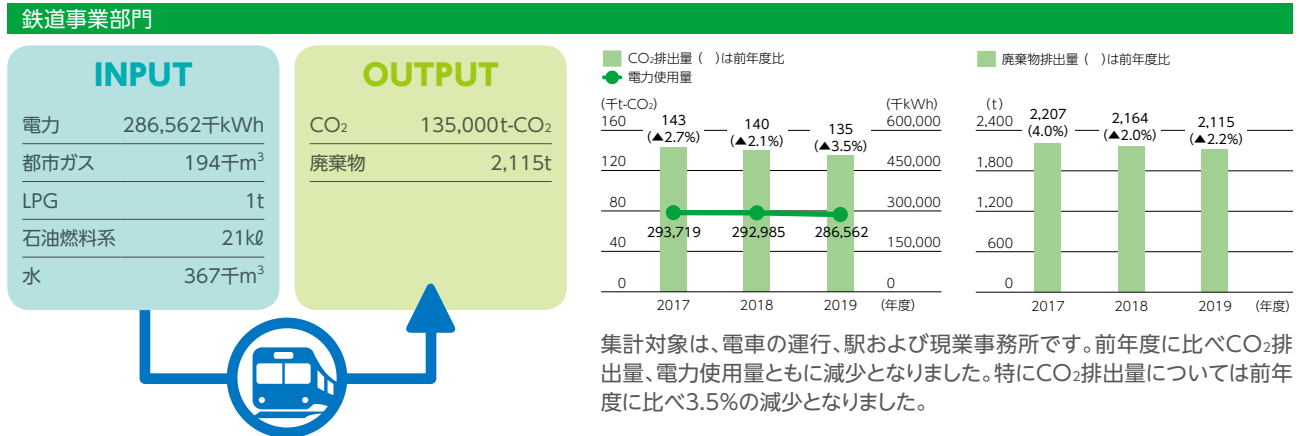


## 環境関連データ

### 環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの事業特性に応じて、資源の使用(インプット)とCO<sub>2</sub>・廃棄物の排出(アウトプット)を定量的に把握し、企業活動に役立てています。

#### 2019年度の環境負荷レビュー



## 環境会計

環境保全に向けて、2019年度は約69億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて、列車の騒音振動防止や、駅施設やオフィスビル・店舗などへの高効率照明をはじめとした環境配慮設備の導入による省エネルギー化、廃棄物の分別・リサイクルの推進に向けて、環境投資を継続しています。

2019年度は、オフィスビルなどで空調の効率化やLED照明を導入するなどの省エネルギー施策を推進しました。また、連続立体交差事業の進捗や省エネルギー化を図った新型車両5000系の新造などにより、全体で前年度比3.8%の増加となりました。

### ▶ 2019年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位:百万円)

内容	主な取り組み	具体的な内容	投資	費用
<b>(1) 事業エリア内コスト</b>			4,673	2,178
① 公害防止コスト	●騒音振動防止 ●大気汚染防止 ●水質汚濁防止	◎連続立体交差化 ◎ロングレール敷設 ◎レール綱目補強 ◎草刈 ◎低VOC塗料への転換 ◎分岐器床板交換	2,195	715
② 地球環境保全コスト	●省エネルギー化 ●モーダルシフト ●オゾン層破壊防止	◎新型VVVFインバータ制御装置導入 ◎省エネ機器への更新 ◎可動式ホーム柵設置 ◎オフィスビル等の空調機更新・照明LED化	2,002	179
③ 資源循環コスト	●廃棄物減量 ●廃棄物処理・処分 ●廃棄物リサイクル	◎PASMO関連費用 ◎駅清掃費 ◎車両清掃費 ◎車両座席シート交換 ◎駅トイレ改修	476	1,284
(2) 管理活動コスト	●景観保持 ●自然保護・緑化 ●教育・啓発	◎植栽管理 ◎環境報告書制作	0	104
(3) 社会活動コスト	●自然保護・緑化 ●環境保全の寄付 ●社会的取り組み	◎京王クリーンキャンペーン ◎親子森林体験スクール	0	2
合計			4,673	2,284
コスト総計			6,957	

#### [対象期間]

2019年4月1日～2020年3月31日

#### [対象範囲]

当社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。

(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

#### [算定基準]

- 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
- 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
- 減価償却費は計上していません。

※PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

#### ■ 環境保全コストの推移

